



意見・感想

「定期健診のお陰で」

K・Hさん

六十を過ぎて福嶋歯科へ駆け込んだ時、私の歯は深刻な状態でした。長年の無知と無精の代償として数本の歯は抜かざるを得ず、土台の骨も退縮が進んでいました。失った歯や骨を取り戻すことはできません。これ以上悪化を食い止める、なんとか現状のレベルを維持することが私の目標となりました。

以来六年、定期健診で年数回のチェックと手入れを続けてきました。現在、口の中の健康は十分に確保され、健診の成果に私は満足しています。

健診のもう一つの収穫、それは自身できちんと歯の手入れをする習慣と技術が身に付いてきたことです。正しい歯磨きやフロッシングは無精な私には大変面倒な作業です。それが習慣になったのは、健診の都度衛生士の皆さんが親身に根気強く指導し励まして下さったお陰です。

(スタッフ一同)



Q&Aコーナー

Q 歯に汚れ(プラック)細菌の塊が付いていると、どうして歯ぐきから出血するのですか？



A 歯の根元にプラックが付着させたままにする、歯と歯肉の間隙が増え、歯肉の中にもプラックが増え、歯肉の中にもプラックが増えます。この細菌は歯周病菌と呼ばれます。この細菌は歯周ポケットからしみ出てくる血液成分を栄養源とし、どんどん増えていきます。そして、歯肉からの出血や腫れの原因となるのです。毎日丁寧にフロス・ブラッシングすると遅くとも一週間ほどで出血はなくなり、お手入れの時に歯肉から出血のある方は優しく丁寧にフロスなどして頑張り、歯肉はきつくと皆さ

歯周ポケットの中の歯周病原菌



歯科衛生士に

エールを

受付 宮本



健診時の歯科衛生士によるクリンニング、いつも心地よく一人として、毎回その滑らかな安定した手の動きに感動しています。そして次のホームケアへと繋がる的確なアドバイス、心のクリンニングも同時にし近くなって気がつきました。最近に

さてその衛生士ですが、どの様にすれば皆様に御自身の口腔の現状を理解していただくか、又お一人お一人に合った口腔ケアの方法について日々考え続けています。その為に二年に一度、口腔内ドックの一部として歯周病検査をおこない、それにより骨の状態、出血の有無、病変のチェック、お手入れの状況等を確認し、その結果を数値で理解していただき、結果を数値で基付き資料作成を行うことで、この方には現段階で何が必要なのかをプラスすればよいお手入れが充実されるのか、という想いで資料を見つめています。



春蘭

撮影・受付 宮本

もちろん歯石除去時の技術面に於いても皆様にリラックスして受けていただける様、日々技術に磨きを掛けています。そして予防方法も今後の衛生士の努力により、よりミラクルなものへと変化して行く事を期待し衛生士に温かい応援を宜しくお願い致します。皆様、お口の健康を守り維持して行きましょう！

「歯っぴー通信」のバックナンバーは、ホームページでもご覧になれます。



お知らせ

福嶋歯科医院
〒680-0831
鳥取市栄町609
加藤紙店ビル5F
TEL 0857-241-7272
FAX 0857-241-7262
E-mail fuku-y@hal.ne.jp
URL http://www.hal.ne.jp/fuku-y/

【編集】 澤美千代・村田さゆり・西村久美子